

第1回日本音楽療法学会関東支部  
都県別講習会(東京)開催のお知らせ

セッションでの電子端末の活用術  
～表現を支援するスマホやMIDIデータの使用例～

関東支部東京地域では、上記のテーマで講習会を開催いたします。

鈴木 祐仁先生には、「電子機器の活用法と使用例」として、様々な電子楽器をご持参いただき、電子楽器の基本的な特性や扱う際の留意点などを、小林 朱見先生には、「MIDIデータの活用法と使用例」として、進歩を続けるMIDIデータなどの様々な音源の紹介とその活用法について、それぞれ実際例をあげながらお話しいただきます。

受講者には、学会関東支部から「資格認定・更新のためのポイント」が付与されます。

日時：2013年4月14日(日) 13:00～17:00

場所：日本福祉教育専門学校 高田校舎 245 教室

東京都豊島区高田 3-6-15

JR 山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩7分

高田校舎へのアクセス <http://www.nippku.ac.jp/access/go.html>

参加費：①日本音楽療法学会関東支部東京都正会員：無料

(前年度の支部会費納入済みの正会員)

②日本音楽療法学会関東支部他県正会員：800円

③非会員：1000円 学生 500円

※当日会場にてお支払い下さい。

主催：日本音楽療法学会関東支部都県別講習会(東京)実行委員会



## 講師プロフィールと講演内容

### 鈴木 祐仁

洗足学園大学シンセサイザー科卒業 日本音楽療法学会認定音楽療法士  
障がい児・者を対象に福祉施設、NPOなどで音楽療法実践。

「音楽療法のためのオリジナル曲集 だれかの音がする 春秋社」編者

#### 総論および電子機器の活用法

近年、さまざまな電子機器や電子楽器を導入したセッションの話題を耳にすることが増えました。これらの機器は音を作り出す回路としての「シンセサイザー」を内蔵していますが、アコースティック楽器との違いは、たとえば「ピアノ」と呼ばれる楽器がどれも似た形・演奏法であるのに対し、シンセサイザーは多様な操作方法を採用することができ、その形もさまざまです。この講習会では、楽器としての電子機器の基本的な特性や扱う際の留意点、セッションに導入する際の検

### 小林 朱見

宮城教育大学教育学部児童心理学専攻卒業

日本音楽療法学会およびTMVA（東京ミュージックボランティア協会）認定音楽療法士、知的障がい児・者の音楽療法室 みゅーじっくぼうる・めい主催 障がい児・者、音楽療法実施

#### 音楽療法士のための「イマドキ(使える)」音源活用術

ピアニストと一緒にすべて生演奏でセッション。それは理想的ですが、福祉分野などの現場では、限られた人員配置の中でセッションをしている方が多いのではないのでしょうか。そこで助けになるのが、音源です。ところが、その音源が長すぎたり速すぎたり、キーが高すぎたりと、クライアントの状態にあわなくて困ることがありませんか？本講習会では、どんどん進歩している音源のいろいろについて紹介します。さらにその中でパソコンを使って編集できるMIDIや、スマホのアプリ活用について、実際のセッションで生かしている実践例や活用方針を紹介します。

## 申込方法

参加ご希望の方は、以下を明記の上、tokyo@jmta-kanto.jp宛メールにてお申込み下さい。①氏名 ②参加枠：東京都在住会員(会員番号)・東京都以外会員(会員番号)・一般・学生のいずれか ③ご住所 ④電話番号 ⑤アドレス

※申込受付開始：2月7日(木)から(先着順で受付)

※定員：90名 定員になり次第締切りとさせていただきますので、支部HPをご確認下さい。

※詳細、または変更がある場合は支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/index.html> に掲載いたしますので必ずご確認ください。

※受講証明書は当日配布いたします。